

みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより
令和5年度 第13号
2023年7月20日(木)発行
【ヒマワリ】

心もスッキリ ワックスがけ

HR教室・選択教室は7月14日(金)、廊下・階段は19日(水)、ワックスがけを実施しました。

何より感心したのは、ポリッシャー洗浄ではなく「ナイロンたわし」による床磨きから仕上げの2回目のワックスがけまで、大半の生徒が実に楽しそうな表情で手(と口)を動かしていたことです。



「床磨きは自分磨き」という言葉があります。きっと床と同様に生徒の内面もスッキリし、ピカピカに磨かれたのではないかと想像しています。

祝賀気分高揚へ 和太鼓練習開始

9月30日(土)開催予定の創立50周年記念式典のオープニングを飾る和太鼓演奏の練習が、7月13日(木)から始まりました。

奏者は自ら名乗りを上げてくれた3年生4名、2年生6名です。10名は練習初日からリズム感抜群で、ご指導いただいた吉川錦太鼓5名の方も驚かれるほど練習がはかどりました。各々3種類の太鼓をたたき比べ、お気に入りを選んだ結果、直径4尺の大太鼓を2名、締太鼓を3名、長胴太鼓を5名が担当することになりました。

今後は、9月28日まで毎週木曜日、2時間の練習を重ねます。腕の筋肉がパンパンに張り、手のひらの皮がめくれても、一心に太鼓と向き合う10人。式典当日、祝賀ムードを大いに高めてくれるであろうことを確信しました。



私の「普通」とあなたの「普通」はちがう それを私たちの「普通」にしよう

7月18日(火)、三木市国際交流協会から3名の講師にご来校いただき、2年生を対象に多文化共生のまちづくりに向けた資質や能力を育むことを目的に、国際理解教育出前講座を開講しました。事務局の方からは、2023年5月末現在、三木市に暮らす外国人住民は2,315人で、10年前と比べて2倍以上に増えているなど、国際化の現状と課題が紹介されました。ペルー国籍の男性は「どこの国の人も『普通』に暮らしている。それぞれの『普通』がちがうだけ」と話されました。中国国籍の女性には生徒から「一人っ子政策」等についての質問があり、価値観にまで踏み込んだ深い内容の講座となりました。これを機に、誰もが住みやすいまちづくりをめざして、言葉や習慣が異なる人たちと、英語が苦手でも「やさしい日本語」でコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけたいものです。



👏 喜び 🎉 感動 🤝 分かち合って 50年!
高 兵庫県立 吉川高等学校

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

